

### ハリマ共和物産

#### 新顔9社迎えて

#### 春の見本市盛大に

ハリマ共和物産は2月21、22日の2日間、わたって神戸国際展示場で「2017年春の見本市」を開催し、虎の子商材を持ち寄ったメーカー計117社を目標として小売業140社から545名(事前登録ベース)が集結して活発な商談を重ねた。

開催趣旨に「Total」上積みを果たしていた。

「hennestage」と掲げた見本市には、エスケー石鹸(本社)東ト本部仕入企画チームなど9社の新規出展企業が顔を揃えた中、2日間の売上目標17億3000万円(前年比103.0%)の達成に向け、製配販が一体となって魅力ある売場づくりへ知恵を絞った。予定来客数545名は、16年7月に開催した「秋の見本市」の来場実績に対し7%の

「暑い寒さも彼岸まで」という言葉通り、少しずつ春本番が近づいているが、我が家の近くでは先月中旬に早くも河津桜が見頃を迎えた。

都内3区(江古川区・墨田区・江東区)の境界を流れる旧中川の河川敷沿いには河津桜の花が川沿いに咲き誇り、一足早い春の訪れを楽しむことができた。

### 日記

## H & B

### 私の

今月末にはソメイヨシノの開花が控え、実に長い間桜を楽しむことができ、しかも東京スカイツリーとコラボレーションした眺望も魅力的なので、ネットでは都内の隠れた花見

「100%コーナー」へ目を凝らすと、大手の定番的なNBに混ざって新興メーカーのアイディア偏重型製品が陳列してあるなど、用途や性質は違っても「100%伸長」が共通している商品群は一体感を放っていた。

また、他の卸と差異化した独自性を打ち出した買い場提案「インターシッププログラム」大學生コラボ企画」では、出展を重ねて4回目となった売場づくりの考え方について、甲南大学マネジメント創造学部の古谷郁美さんが「今回のテーマは『ツヤ』としたうえで、『就職活動の学生や新社会人は不安から輝きを失っている人がいる。そこへ、ツヤと自信を与えたい』と述べ、狙いを果たしたと強調していた。

「お家」ではUYEKIの「スーパーオレシジ」を推奨一番手に挙げていた。

会場では津田信也社長が先頭に立って接客にあたった。第3四半期までの2ヶ月に迫る増収の要因について尋ねたところ、目前の場者の関心度合いが高いと、「大学生コラボ企画」を先行販売を前に「買ってほしい」と言っているだけで売上は「若い人の考え方がどんどん変わって来ている。PCを持たない」と述べ、発言に小売店を支援できる販促提案が重要だという意味を含ませた。

さらに、津田社長は来世の代りに近づいていく必要がある」と語り、凝らした視点では勝ち残れない卸の本質を示した。

「お家」ではUYEKIの「スーパーオレシジ」を推奨一番手に挙げていた。

会場では津田信也社長が先頭に立って接客にあたった。第3四半期までの2ヶ月に迫る増収の要因について尋ねたところ、目前の場者の関心度合いが高いと、「大学生コラボ企画」を先行販売を前に「買ってほしい」と言っているだけで売上は「若い人の考え方がどんどん変わって来ている。PCを持たない」と述べ、発言に小売店を支援できる販促提案が重要だという意味を含ませた。

さらに、講演に参加した販売店に向けては「朝は1日で最も体温が低く、朝から身体を温めるためには朝食を摂取することが重要だ。この商品は忙しい朝でも朝食代わりに摂取できるので、多くのお客様に紹介して欲しい」とアピールした。

### 春よ、来い

「暑い寒さも彼岸まで」という言葉通り、少しずつ春本番が近づいているが、我が家の近くでは先月中旬に早くも河津桜が見頃を迎えた。

都内3区(江古川区・墨田区・江東区)の境界を流れる旧中川の河川敷沿いには河津桜の花が川沿いに咲き誇り、一足早い春の訪れを楽しむことができた。

今月末にはソメイヨシノの開花が控え、実に長い間桜を楽しむことができ、しかも東京スカイツリーとコラボレーションした眺望も魅力的なので、ネットでは都内の隠れた花見

「100%コーナー」へ目を凝らすと、大手の定番的なNBに混ざって新興メーカーのアイディア偏重型製品が陳列してあるなど、用途や性質は違っても「100%伸長」が共通している商品群は一体感を放っていた。

また、他の卸と差異化した独自性を打ち出した買い場提案「インターシッププログラム」大學生コラボ企画」では、出展を重ねて4回目となった売場づくりの考え方について、甲南大学マネジメント創造学部の古谷郁美さんが「今回のテーマは『ツヤ』としたうえで、『就職活動の学生や新社会人は不安から輝きを失っている人がいる。そこへ、ツヤと自信を与えたい』と述べ、狙いを果たしたと強調していた。

「お家」ではUYEKIの「スーパーオレシジ」を推奨一番手に挙げていた。

会場では津田信也社長が先頭に立って接客にあたった。第3四半期までの2ヶ月に迫る増収の要因について尋ねたところ、目前の場者の関心度合いが高いと、「大学生コラボ企画」を先行販売を前に「買ってほしい」と言っているだけで売上は「若い人の考え方がどんどん変わって来ている。PCを持たない」と述べ、発言に小売店を支援できる販促提案が重要だという意味を含ませた。

さらに、講演に参加した販売店に向けては「朝は1日で最も体温が低く、朝から身体を温めるためには朝食を摂取することが重要だ。この商品は忙しい朝でも朝食代わりに摂取できるので、多くのお客様に紹介して欲しい」とアピールした。

会場では津田信也社長が先頭に立って接客にあたった。第3四半期までの2ヶ月に迫る増収の要因について尋ねたところ、目前の場者の関心度合いが高いと、「大学生コラボ企画」を先行販売を前に「買ってほしい」と言っているだけで売上は「若い人の考え方がどんどん変わって来ている。PCを持たない」と述べ、発言に小売店を支援できる販促提案が重要だという意味を含ませた。



会場の一角では津田信也社長が先頭に立って接客にあたった。

### 新年懇談会を開催

#### 全粧協関東ブロック

全粧協関東ブロックはこのほど、神奈川県(箱根)で新年懇談会を開催し、組合員やメーカーの実務責任者、報道陣など約100名が出席した。当日は、主催者を代表して神奈川県粧協の佐藤和雄理事長が挨拶したのち、資生堂ジャパンヘルスケア事業部営業推進室営業推進グループの正田千栄子氏による「冷えと血管に着目した内面美容提案」と題したセミナーが行われた。

正田氏は、まず冷えてくる原因として、「気温の低下や衣類の保温性、紫外線による毛細血管ダメージといった外的要因だけでなく、熱を作りに出す筋肉量が男性と比べて少ないことや、ホルモンバランスや自律神経が崩れやすいため血流が滞り、それによって熱が身体に巡りにくいと、体内的要因がある」と説明した。

また、冷えによる身体への影響として、「体温が1℃下がると身体基礎代謝が12%低下し、1日の消費カロリーに換算すると200〜500kcalに相当する」と具体的な数値を示したうえで、冷えを手軽に改善するための方法について「日々の食事を見直し、肌の血行を促進して身体を内側から温める栄養素

を積極的に摂取すべき」と語った。

正田氏は、冷えを改善するために資生堂が提案する素材として、血流改善作用やサーチュイン遺伝子活性化、抗酸化作用を持つ「長命草」を紹介。この素材を配合した美容補助飲料「ベネフィーク モーニンググリースター」の商品特長について、「長命草だけでなく、血管修復・強化成分のシベリア人参と血管老化抑制成分のレスベラトロールも配合している」と説明した。



正田氏



佐藤理事長